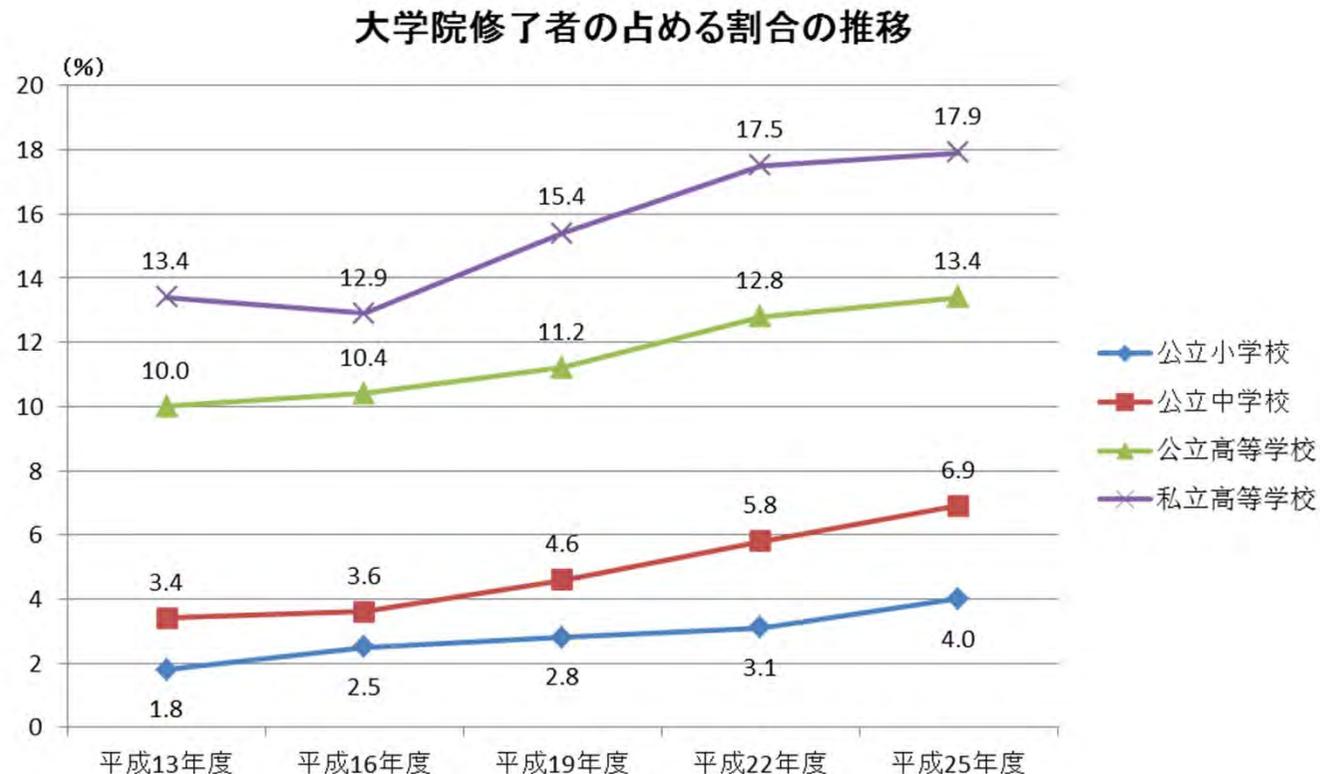


本務教員のうち大学院修了者の占める割合

Ⅲ. 2. (3)

平成25年度時点における本務教員のうち大学院修了者の占める割合は、公立小学校で4.0%、公立中学校で6.9%、公立高等学校で13.4%、私立高等学校で17.9%となっている。平成16年以来その割合は増加している。



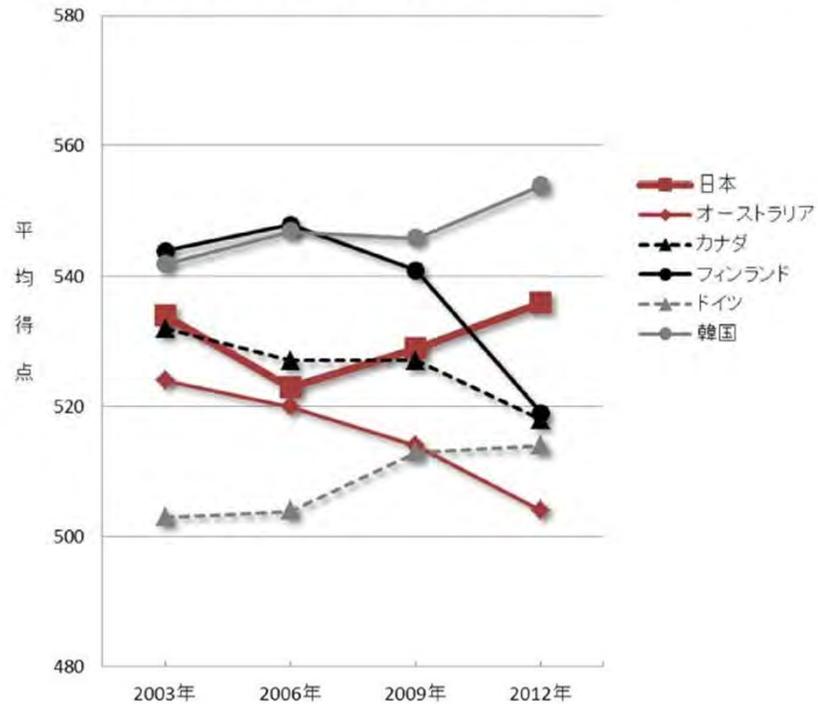
※平成25年度は中間報告

義務教育終了段階の15歳児の数学的リテラシー、科学的リテラシー

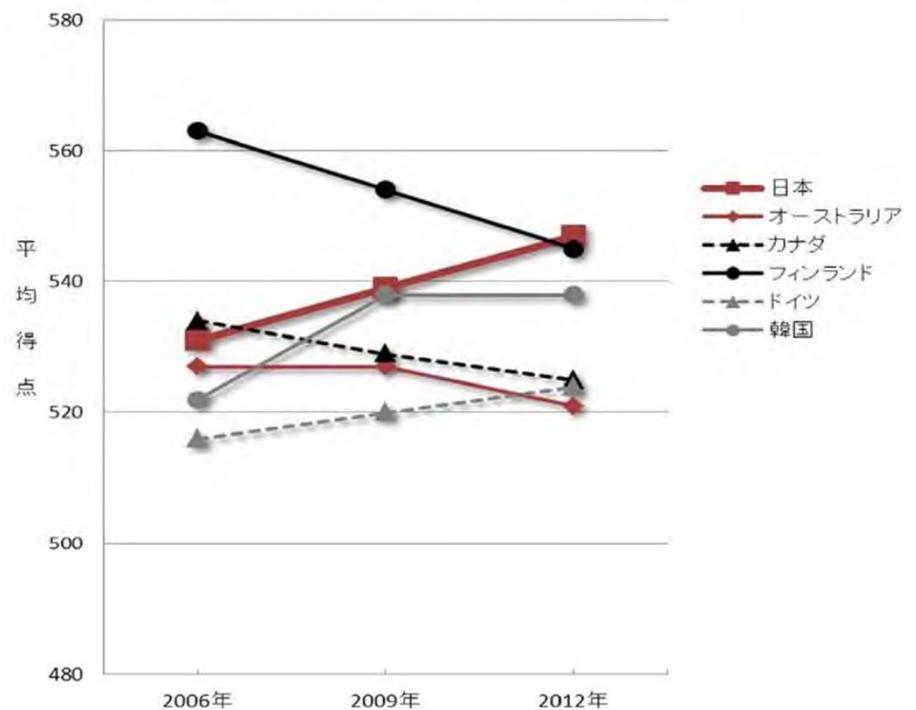
Ⅲ. 2. (3)

近年、日本の数学的リテラシー、科学的リテラシーは高くなっている。

数学的リテラシー平均得点の経年変化（6か国）



科学的リテラシー平均得点の経年変化（6か国）

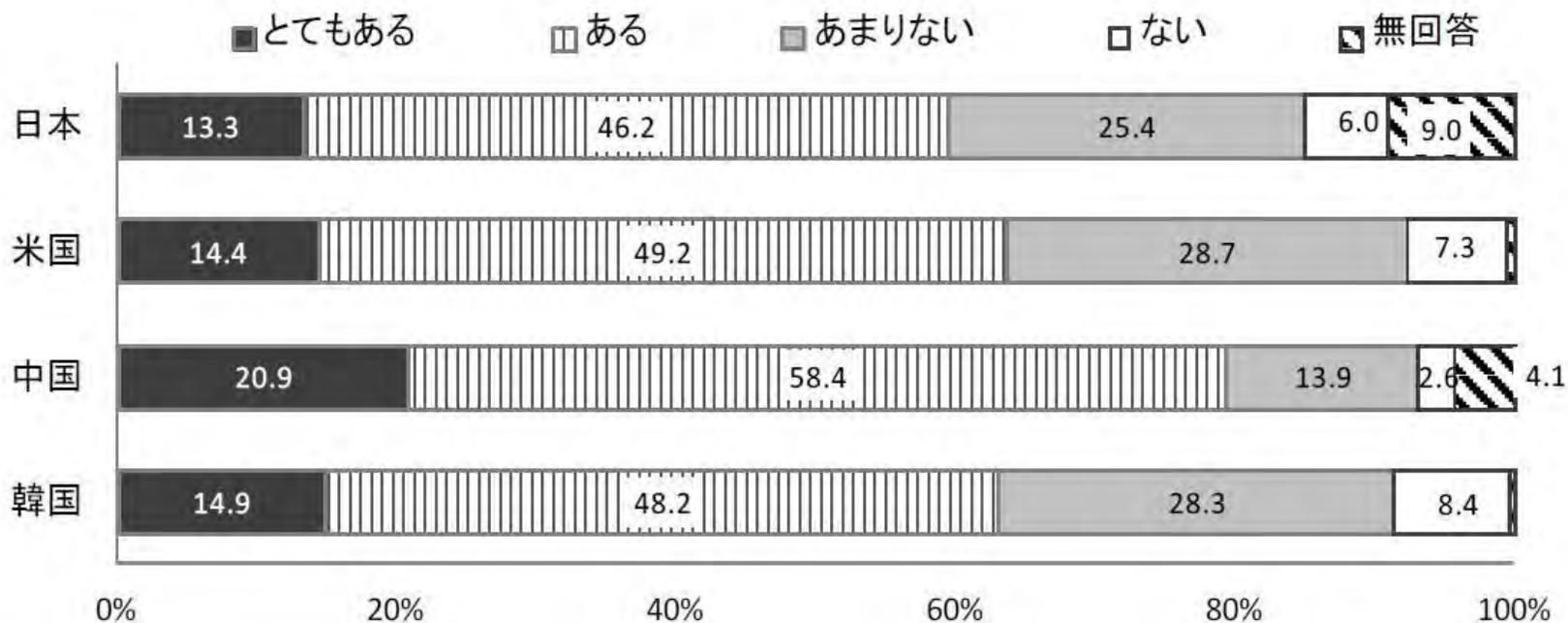


出典：国立教育政策研究所「OECD生徒の学習到達度調査」（PISA2012）

高校生の自然や科学への興味や関心

Ⅲ. 2. (3)

日本の高校生は4か国の中で最も自然や科学への興味や関心が低い。



出典：国立青少年教育振興機構「高校生の科学等に関する意識調査報告書-日本・米国・中国・韓国の比較-」（2014年8月）

大学の施設及び設備の整備

Ⅲ. 3. (1) ①

国立大学の施設整備が進み、狭隘解消や耐震対策については一定の進展が見られるが、老朽化対策については遅れが見られる。

「第3次国立大学法人等施設整備5か年計画」の進捗状況

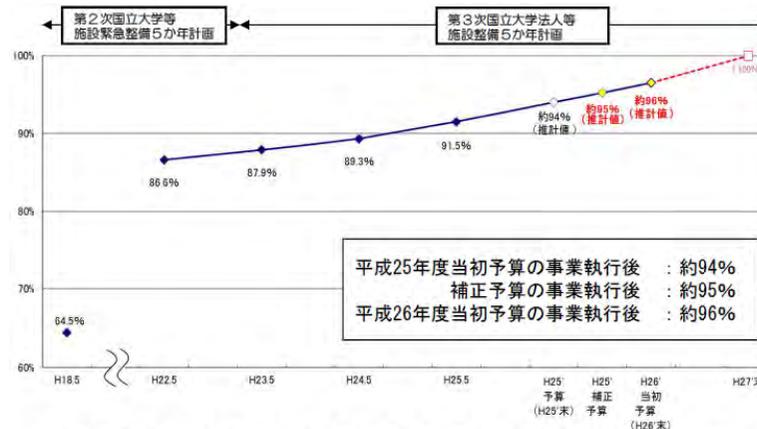
区 分	整備面積				施設整備費
	老朽再生整備	狭隘解消整備	大学附属病院の再生	合 計	
整備目標	400万㎡	80万㎡	70万㎡	550万㎡	1兆1,000億円
平成22年度補正	3.4万㎡	0.1万㎡	0.0万㎡	4万㎡	50億円
平成23年度当初	13.9万㎡	3.9万㎡	11.7万㎡	30万㎡	885億円
平成23年度3次補正	19.2万㎡	2.6万㎡	0.0万㎡	22万㎡	350億円
平成24年度当初	33.6万㎡	5.2万㎡	13.8万㎡	53万㎡	1,308億円
平成24年度予備費①	2.6万㎡	0.1万㎡	0.0万㎡	3万㎡	51億円
平成24年度予備費②	25.7万㎡	△0.7万㎡	0.0万㎡	25万㎡	416億円
平成24年度補正	48.1万㎡	15.7万㎡	0.0万㎡	64万㎡	1,412億円
平成25年度当初	18.1万㎡	9.1万㎡	12.5万㎡	40万㎡	1,064億円
平成25年度補正	32.1万㎡	2.0万㎡	0.0万㎡	34万㎡	526億円
平成26年度当初	11.7万㎡	6.0万㎡	12.8万㎡	30万㎡	983億円
小 計	[52%] 208.4万㎡	[55%] 43.9万㎡	[73%] 50.8万㎡	[55%] 303万㎡	[64%] 7,045億円

《多様な財源を活用した施設整備》

平成23年度	3.1万㎡	7.9万㎡	2.6万㎡	14万㎡	287億円
平成24年度	6.2万㎡	9.8万㎡	5.4万㎡	21万㎡	445億円
平成25年度	6.0万㎡	9.5万㎡	2.4万㎡	18万㎡	531億円
合 計	[56%] 223.7万㎡	[89%] 71.1万㎡	[87%] 61.2万㎡	[65%] 356万㎡	[76%] 8,308億円

注1) 合計欄の【 】は、整備目標に対する進捗率を示す。
 注2) 施設整備費は、施設整備費補助金（不動産購入費を除く）、財政融資資金及び施設費交付金の合計額。
 注3) 四捨五入により合計は一致しない。
 注4) 平成25年度補正、平成26年度当初以外は実績ベースである。

◆耐震化の状況(施設)

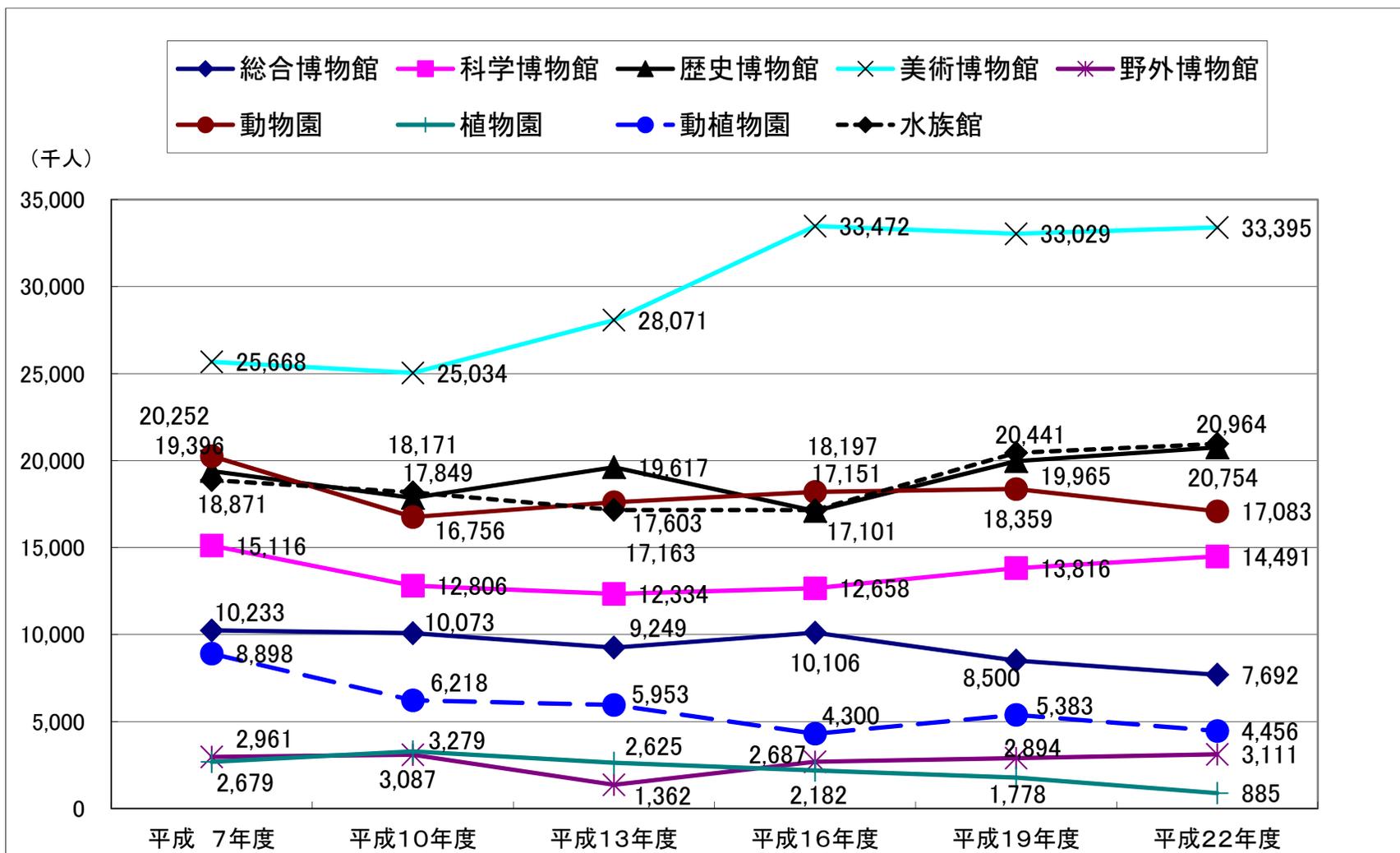


※ 第3次5か年計画における整備面積550万㎡(老朽:400万㎡、狭隘:80万㎡、病院:70万㎡)、平成27年度までに耐震化を完了
 ※ グラフの赤線は、平成25年度末の耐震化率(推計値)に基づき平成27年度末に耐震化を完了する前提で各年度比例配分したものと推計値は、予算上の整備面積に基づき算出したものであり、整備状況により必ずしも実績とは一致しない可能性がある

博物館（登録，相当施設）の入館者の推移

IV. 1. (2)

全国の科学博物館及び博物館への入館者数は近年ほぼ横ばい傾向。



出典：文部科学省社会教育調査より内閣府作成